



南越前町立
南越前中学校
minamiechizen junior high school

みらい



みな中 HP QR コード

学校だより No. 12
令和7年1月8日

校訓 『立志 清心 躍動』

◆新年 明けましておめでとうございます。

令和7年がスタートしました。今年のお正月にはどんな目標を立てましたか？「健康で元気に1年が過ぎますように！」とか「志望校に絶対合格できますように！」など、それぞれ人によって違うと思いますが、年の初めに目標を立てることはとても大切なことだと思います。もちろん途中で目標が変わってもなんの問題ありません。何かひとつ自分なりの目標を立ててそれに向かって頑張ることが大切だと思います。まだ、これといった目標を立てていない人がいたら、今からでも考えてみてください。きっと、この1年がいい1年間になることまちがいないです！



◆お正月に飾る「門松」や「しめ飾り」にはどんな意味があるか知っていますか？



そもそも正月行事というのは、年神様という新年の神様をお迎えするための行事です。年神様は家々にやってきて、生きる力や幸せを授けてくださると考えられています。そこで、お正月が近づくと「しめ縄」や「しめ飾り」を施し、年神様を迎える準備をします。

「しめ縄」には、神様をまつるのにふさわしい神聖な場所であることを示す意味があります。しめ縄が神の領域と現世を隔てる結界となり、その中に不浄なものが入らないようにする役目も果たします。その由来は、

天照大神が天の岩戸から出た際に、再び天の岩戸に入らないようしめ縄で戸を塞いだという日本神話にあるとされ、「しめ」には神様の占める場所という意味があるといわれています。

次に、「しめ飾り」というのは、「しめ縄」に縁起物などの飾りをつけたものをいいます。代表的なのが、神様の降臨を表す「紙垂(しで)」、清廉潔白を表す「裏白」、家系を譲って絶やさず子孫繁栄を願う「譲り葉」、代々栄えるよう願う「橙」などです。

もともとは、神社が「しめ縄」を張りめぐらせるのと同じ理由で、自分の家が年神様をお迎えするのにふさわしい神聖な場所であることを示すために始まったといわれています。「しめ縄」や「しめ飾り」を結界として施すことで、その内側が清らかな場所となり、魔除けにもなるため、年神様が安心してくださるわけです。昔の人はいろいろなことを考えながらお正月を過ごしたんでしょうね。

◆12月27日(金)に吹奏楽部のアンサンブルコンテストが開催されました。

ものすごい緊張の中、これまでの練習の成果をしっかりと出し切ってくれました。吹奏楽部のみなさんお疲れ様でした。結果は、打楽器3重奏の金賞をはじめ、銀賞4、銅賞1とよく頑張りました。



フルート2重奏
「ソナタ」



金管5重奏
「三つの印象画」



打楽器3重奏
「雅」



サクソフォン3重奏
「夏のスケッチ」



金管5重奏
「グリーン・アベンチュリン」



クラリネット5重奏
「ある森の一日」

◆今回も梅干しは完売でした。ありがとうございました。

2学期の保護者会の日に、3年生が梅干しの販売を行いました。6月に2年生が梅もぎに行きへたを取って漬け、1年生が天日干し、3年生がパックに詰めラベルを貼りました。



◆今年の初日の出

今年の元日は、天気はあまり良くはありませんでしたが、少しだけ初日の出が見えました。



(我が家からの初日の出)



つらい時期だからこそ、友だちを思いやる気持ちを忘れないで！

この時期の3年生は、みんな少なからず「しんどい思い」をしています。自分だけではないことをよく理解して、他人のことを思いやる余裕が持てるようになるといいですね。そのために必要なこととは…よ〜く考えてみよう！

by イ・マセン